

# 第5学年社会科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日(〇)〇校時  
学 級：第5学年〇組〇名  
場 所：5年〇組教室  
授業者：〇〇 〇〇〇

## 1 単元名 「情報社会に生きるわたしたち」(小学社会5年 『日本文教出版』)

### 1. 情報をつくり、伝える

## 2 単元の目標

受け取った情報の精査・吟味を行う態度を養い、送り手として他者に伝える責任の大切さについて理解を深める。

- ・我が国の産業と情報との関わりについて、放送、新聞などの産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていることなどを理解するとともに、聞き取り調査や映像、新聞など、各種の資料で必要なことを調べ、適切にまとめる技能を身に付ける。 [知識及び技能]
- ・情報を集めて発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子をとらえ、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、調べたことや考えたことを表現する力が育つようにする。 [思考力、判断力、表現力等]
- ・情報をつくり伝える仕事に関する学習問題の解決に向けて意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことを確かめる。また、情報社会に生きる一員として、情報の送り手と受け手の立場から多角的に物事を考え、受け手として正しく判断することや、送り手として責任をもつことの大切さについて考えようとしている。 [学びに向かう力、人間性等]

## 3 単元について

### (1) 児童の実態

1人1台端末を活用し、インターネットから情報を手に入れることができる児童の多くは、その情報を鵜呑みにして、そのまま活用しようとする様子が見られる。そこで、新聞が発行されるまでを例に、多面的な見方を養い、発信する際にはたくさんの見方を取り入れたり、取捨選択したりする過程を理解し、情報が発信されるということを学んでほしい。

### (2) 教材について

本単元は、「情報をつくり、伝えること」の学習である。この学習を通して、児童の「受け取った情報の精査・吟味を行う態度を養い、送り手として他者に伝える責任の大切さについて理解を深める力」を育成したい。

「受け取った情報の精査・吟味を行う態度を養う」ためには、まず情報を収集し、その「情報の信頼性を確かめること」が必要である。単元導入では、児童が自分の興味や関心に応じて、各種メディアの特徴を掴み、整理する。また、調べる過程や調べたことを交流する中で、「情報の入手方法や有効利用の仕方」について学習し、自分の考えを表現するために「情報について学習する」とい

う目的意識につなげていきたい。

単元導入で学習したことを生かし、情報産業の事例として「新聞社の仕事」について取り上げる。それは、「インターネットで情報が得られる現在でも、新聞が国民生活に大きな影響を及ぼしていること」を児童に理解させたいという考えに基づいている。また、二つの新聞記事の1面を比べたり、捏造記事や報道被害について学習したりすることで、単元の導入で学習した「情報の信頼性を確かめること」にもつなげる。

学習問題は、「新聞社は、どのように情報を集めて、新聞をつくり、わたしたちのもとへとどけているのだろう」を設定し、新聞社が「様々な情報を収集し、また整理・分類し、記事を掲載していることや新聞ができるまでの過程」を理解させたい。新聞ができるまでの過程について、自分なりに考えることで、その後の児童が自分の考えを表現できる活動につなげていきたい。

新聞社を学習した後は、インターネットやスマートフォンなどの情報通信機器によって、個人でも情報を発信し、世界中の多くの人々と交流できるようになったことに気付かせたい。現代の情報通信機器について学習することで、情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性について、児童が自身の考えをもてる学習にしたい。

### (3) 指導について

新聞を手に取り、読んだことのない児童もいることが想定されるため、新聞の情報に浸る時間を十分に取りたい。児童の生活環境を鑑みると、情報を入手する手段は、専らインターネットやテレビが挙げられる。しかし、インターネットから情報を入手する場合には、検索履歴や過去に閲覧したページなどから、それに類する情報が優先的に表示され、自分の好む情報「だけ」に囲まれた状態になり、その他の情報から隔離されやすくなるフィルターバブル現象を起こしやすく、情報の発信者の見方や考え方が一方的に助長されやすい傾向があり、注意が必要である。新聞は、多方面に渡って多くの情報が掲載されているが、その情報の一つひとつに対して多数の目で整理・分類、推敲を繰り返した後、発信される。個人で情報通信機器を用いて発信する場合には、自身が情報を整理・分類、推敲を行うので、自身に責任が伴う。情報を発信するという点で似通っているが、複数の目で発行まで行う新聞と、個人で行う発信では、責任の所在や大切さ、影響力などが異なることを理解できるようにする。

そして、マスメディアの特徴を児童自らが理解することを通して、情報を得る選択肢を広げられるよう指導していく。

## 4 単元の評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| ①放送、新聞などに代表されるマスメディアは、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している。<br>②大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を進展させ、国民生活を向上させていることを理解している。 | ①情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。<br>②情報の種類や活用の仕方などに着目して、産業における | ①我が国の産業と情報との関わりについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしていたりしている。 |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現している。</p> |  |
|--|---|--|

## 5 単元計画(全7時間)

| 時間  | 学習のねらい   | ○主な学習活動 ・内容   | 評価方法と【評価規準】   |
|---|--|---|---|
| 1   | <p>くらしのなかにある様々な情報について関心を持ち、どのような情報を、どのように入手しているのかを調べようとする。</p>                       | <p>○情報の入手方法について、自分や自分以外の人、どのような方法で手に入れているのか、意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような手段があるのか。</li> <li>・なぜその手段なのか。</li> </ul>                          |   |
| 2   | <p>様々なメディアの特徴について調べることで、情報の伝え手に関心を持ち、身近な新聞社を取り上げ、学習問題や予想を持ち、学習計画を立てることができるようにする。</p> | <p>○情報の伝え手に関心を持ち、様々なメディアの特徴を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人は、どのような手段を使って、情報を手に入れているのか。</li> <li>・新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・インターネットには、どのような特徴があるのか。</li> </ul> | <p>【知・技①】<br/>発言・ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスメディアは、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解している様子。</li> </ul>             |
| <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p><b>学習問題</b><br/>新聞社は、どのように情報を集めて、新聞をつくり、わたしたちのもとへとどけているのだろう。</p> </div> |  |   |   |
|   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想を出し合い、学習計画を立てる。</li> </ul>  | <p>【態度①】<br/>発言・ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の産業と情報との関わりについて、主体的に問題解決しようとしている様子。</li> </ul>             |
| 3   | <p>新聞紙面の構成や記事の内容を調べることを通して、新聞社がどのような紙面づくりを行っているのかについて関心をもてるようにする。</p>                | <p>○新聞にはどのような情報が載っているのか、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面の工夫とはどのようなことか。</li> </ul>  | <p>【思・判・表①】<br/>ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞社の情報の収集や選択など、新聞ができるまでに関わる疑問を持ち、それに対する予想を立てている様子。</li> </ul> |
| 4<br>5  | <p>新聞ができるまでを調べることで、新聞社が正確な情報を早く読者に届けるために、収集した情報を選択・加工して紙面をつくり、届けていることを理解できる</p>      | <p>○新聞が制作され、家庭に届くまでの一連の流れの中で、疑問に思ったことを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようにニュースを見つけるのか。</li> <li>・ニュースを記事にする過程</li> </ul>                              | <p>【思・判・表②】<br/>ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の種類や活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発</li> </ul>       |

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
|   | ようにする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事の推敲に、何人の人が携わっているのか。</li> <li>・何時に新聞が出来上がっているのか。</li> <li>・何時までのニュースを新聞に載せることができるのか。</li> <li>・全部の新聞を1か所で印刷しているのか。</li> </ul>   | 展する産業が国民生活に与える役割を考え、表現している様子。   |
| 6 | 二つの新聞記事を比べることや、捏造記事、報道被害に関する資料を調べること、新聞社は情報を選択し、意図をもって伝えていること、マスメディアによる情報発信によって社会やわたしたちに大きな影響を及ぼすことがあることを理解できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○異なる新聞社の記事を見比べたり、過去の報道による影響について調べたりし、情報の受け取り方について自分の意見をもつ。</li> <li>・二つの記事を読んだ受け止め方どのような違いがあるか。</li> <li>・報道により、一部の人が損害を被ることがある。そうならないために、何を大事にしなければならないか。</li> </ul>   | <p>【知・技①】<br/>発言・ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の受け止め方について、そのまま受け止めてよいのか、自身で判断することが大切であることを理解する。</li> </ul>                    |
| 7 | 情報社会についての様々な問題から、これからの情報の扱い方について、自分の考えを表現できるようにする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネットを介した情報産業が発展してきたことで、どのような恩恵を享受しているのか、これまでの学習から想起し、またこれからはどのように発展していくのか予想する。</li> <li>・インターネットが登場したことによって、世の中の何が変わったか。</li> <li>・これから世の中はどのように変わっていくと考えるか。</li> <li>・変わっていく世の中で、自身が大事にしたいことは、どのようなことか。</li> </ul> | <p>【態度①】<br/>発言・ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の産業と情報との関わりについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</li> </ul> |

## 6 指導計画

・本時の目標(1/7)

くらしのなかにある様々な情報について関心を持ち、どのような情報を、どのように入手しているのかを調べようとする。

・本時の展開

|    | 学習活動  | 教師の支援  | 評価規準と評価方法   |
|----|---|--|---|
| 導入 | <p>1. 最近の自分のニュースを思い出す。</p> <p>言葉 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報</span></p> | <p>○自分にとってのニュースを思い起こすことができるようにする。</p> <p>○そのニュースの出所を、広げていく。</p> <p>○家族など身の回りの人は、どのようなニュースを入手しているか尋ねる。</p> <p>○身の回りにはたくさんの情報が溢れていることに気づけるようにする。</p>   |   |
|    | <p>われわれは、どのような情報をどのような方法で手に入れているのだろう</p>  |  |   |
|    | <p>3. 情報を手に入れる方法として、何がどのくらい多いのか、自分の生活を振り返って考える。</p>   | <p>○ほとんどの児童が、テレビかスマートフォン、タブレットを回答することが予想されるので、それ以外にも情報の収集源があることを伝える。</p> <p>○はじめは、自分を中心に考えてよいが、お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんなど身の回りの人は何から情報を手に入れているのか自分の身の回りの人の視点も取り入れる。</p> <p>○以下のものが児童の発言から出てこなければ、教科書 p188、p189の例を見ながら回答するように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ</li> <li>・新聞や広告</li> </ul> | <p>○身の回りには、情報が溢れていることに気づき、情報の出所や誕生について追究しようとしている。(発言)</p> |

|     |  |   |                  |
|-----|--|---|------------------|
|     |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ</li> <li>・友達との会話</li> <li>・街中の広告</li> <li>・インタビュー</li> <li>・本や雑誌</li> </ul>   | 【主体的に学習に取り組む態度①】 |
| 展開  | <p>3. 自分や自分の身の周りの人は、なぜその手段を使い情報を手に入れようとしているのか考える。</p> <p>言葉</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">インターネット</p> | <p>○どのような情報を手に入れるために、何を使っているのか、共有する。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーの安売りを調べるため、広告を使っている。</li> <li>・天気予報を調べるため、テレビを使っている。</li> </ul> <p>○すべての情報は、スマートフォンやタブレットで得られることを確認する。</p> |                  |
| まとめ | <p>4. 家の人へのインタビューの準備をする。<br/>(学級の実態に合わせてワークシートかノート、または1人1台端末を活用する)</p>   | <p>○家の人に、どのような情報をどのように手に入れているのか、インタビューする家庭学習を設定する。</p>  |                  |

(資料)

家の人へインタビューシート様式

| だれが        | どんな情報を手に入れるため   | 何を使って | どうしてそれを使っているのか       |
|------------|-----------------|-------|----------------------|
| 例)<br>お母さん | 安く売られている品物を探すため | 新聞の広告 | いろいろなスーパーの品物を比べられるから |
|            |                 |       |                      |
|            |                 |       |                      |
|            |                 |       |                      |

・本時の目標(2/7)

様々なメディアの特徴について調べ、情報の伝え手に関心を持ち、身近な新聞社を取り上げるなかで学習問題をつくる。

・本時の展開

|  | 学習活動   | 教師の支援   | 評価規準と評価方法   |
|--|--|---|---|
| 導入   | 1. 家庭学習をもとに、家の人の情報を手に入れている手段を発表する。<br><br>2. めあてを確認する。   | ○家庭でも、ほとんどがインターネットを介して情報を手に入れていることが予想されるので、それ以外の手段にも着目できるようにする。   |   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             情報を手に入れるための手だんの持ちようをまとめよう           </div> |  |   |   |
| 展開   | 3. 家庭学習で出てきた、インターネット、新聞や雑誌、ラジオやテレビの特徴についてまとめる。<br><br>・新聞<br>・雑誌<br>・ラジオ<br>・テレビ<br>・インターネット<br><br>言葉<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">メディア</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新聞</div> ・文字を中心に情報を伝える。持ち運びができて、読み返すことができる。また、記事を切り抜き、保存できる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">雑誌</div> ・文字や写真、絵などで情報を伝える。持ち運びができて、読み返すことができる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ラジオ</div> ・音声だけで情報を発信している。家事や自動車などの運転をしながら、情報を手に入れることができる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テレビ</div> ・映像を使っているので、わかりやすい。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">インターネット</div> ・世界中の大量の情報をいつでも、すぐに見るなど受信したり、発信したりすることができる。 | ○それぞれのメディアの特徴をつかみ、それぞれの良さを見つけようとしている。(発言・ノート)<br><br><div style="text-align: right;">【知識・技能①】</div> |

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| ま<br>と<br>め   | 4. 新聞の記事は、どのよう<br>にして作られているの<br>か、学習問題をつくる。 | ○それぞれのメディアの特徴<br>をまとめながら、新聞の情<br>報量の多さや、昔から親し<br>まれていることに気づける<br>ようにし、新聞に興味をも<br>てるようにする。 |  |
| <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題<br/>新聞社は、どのように情報を集めて、新聞をつくり、わたしたちのもとへと<br/>どけているのだろう。</p> </div> |   |   |  |
|   |   |   |  |

・本時の目標(3/7)

新聞紙面の構成や記事の内容を調べることを通して、新聞社がどのような紙面づくりをおこなっているのかについて関心をもち、課題解決の視点をもつことができる。

・本時の展開

|                          | 学習活動  | 教師の支援  | 評価規準と評価方法  |
|--------------------------|---|--|--|
| 導入                       | <p>1. 家から持ってきた新聞や指導者が用意した新聞に目を通す。</p> <p>2. めあてを確認する。</p>                 | <p>○家庭で新聞をとっていない児童もいることを想定し、事前に新聞を用意しておく。</p>  |  |
| 新聞にはどんな情報がのっているのか、調べてみよう |   |  |  |
| 展開                       | <p>3. 新聞には、どのような情報が載っているか調べる。</p> <p>4. 新聞についてわかったことや、はじめて知ったことをまとめる。</p> | <p>○1日分の新聞を児童に渡し、新聞にはどのような情報が載っているのか調べるようにする。</p> <p>○政治・経済・スポーツ・地域・テレビ番組表など多種多様な情報が新聞には載っていることを児童が見つけられるようにする。</p> <p>○ノートや1人1台端末を使って、わかったことをまとめられるようにする。</p> <p>○その中から、さらに調べてみたいことを見つけれられるようにする。</p> <p>○たくさんの情報を毎日発行していることに気付かせるようにし、どのようにして1日の新聞ができあがっているのか予想できるようにする。</p> | <p>○新聞ができるまでに関わる疑問をもち、調べる道筋を立てている。(ノート)</p> <p>【思考・判断・表現①】</p> |
| まとめ                      | <p>5. 自分が思った疑問について答えを予想する。</p>  | <p>・何人の人が記事作りに関わっているのか。</p> <p>・どのようにしてニュースを見つけているのか。</p>  |  |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  | <ul style="list-style-type: none"><li>・何時までのニュースを翌日の記事に載せることができるのか。</li><li>・新聞の配達エリアは決まっているのか。</li></ul> など、児童の疑問を整理する。 |  |
|--|--|--|--|

・本時の目標(4、5/7)

新聞が購読者の手に届くまでの流れを理解する。

・本時の展開

|     | 学習活動   | 教師の支援   | 評価規準と評価方法   |
|-----|--|---|---|
|     | 1. 新聞に載っている情報から疑問に思ったことを記録した、前時の振り返りをする。<br><br>2. めあてを確認する。   | ○前時の学習を振り返り、自分が調べてみたいことを決定するようにする。  |   |
|     | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">新聞ができあがるまでの流れをまとめよう</div> |   |   |
| 展開  | 3. 調べ学習を進める。<br><br>4. ニュースを見つけてから、新聞が購読者の手元に届くまでをまとめる。  | ○図書室の本や1人1台端末を使い、児童自身が調べたいことを解決する手立てを助言する。<br>・何人の人が記事作りに関わっているのか。<br>・どのようにしてニュースを見つけているのか。<br>・何時までのニュースを翌日の記事に載せることができるのか。<br>・新聞の配達エリアは決まっているのか。<br>など、児童の疑問をグループに分けて調べ学習を進めることも考えられる。<br>○特別活動での学習を想起させ、様々な調べる手段を使い、情報の真偽を確かめるように促す。 | ○自分が調べてみたいことについて調べたことをまとめ、表現している。<br>(ノート)<br>【思考・判断・表現②】 |
| まとめ | 5. 動画教材で新聞社の一日の流れを確認する。<br><br>6. 振り返りをする。   | ○実際の映像を見て新聞社の1日の流れを確認できるようにする。  |   |

・本時の目標(6/7)

二つの新聞記事を比べることや、捏造記事、報道被害に関する資料を調べることで、新聞社は情報を選択し、意図をもって伝えていること、マスメディアによる情報発信によって社会やわたしたちに大きな影響を及ぼすことがあることを理解することができる。

・本時の展開

|                            | 学習活動   | 教師の支援   | 評価規準と評価方法 |
|----------------------------|--|---|-----------|
| 導入                         | 1. 新聞について学習した前時の振り返りをする。<br>2. 提示された二つの新聞記事を比較し、どのような情報の受け止め方ができるか、考える。<br><div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 2px; display: inline-block;">対話するポイント</div> 3. めあてを確認する。  | ○同じ日の新聞を見比べ、一面や見出しの違いに着目できるようにする。<br>○新聞社が、何を購読者に伝えたいのか、新聞社の意図が見られる箇所を見つけられるようにする。  |           |
| 新聞から情報を読み取る時に、大切なことは何か考えよう |  |   |           |
| 展開                         | 4. 報道被害の記事を読み、考える。<br><br>言葉<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">捏造</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">報道被害</div> | ○教科書 p199 の④報道被害の新聞を例に、苦しんだ人がいることを児童に伝える。<br><div style="border: 1px solid black; background-color: cyan; padding: 2px; display: inline-block;">感情を確認</div><br>○教科書の資料を基に、犯人に仕立てられて苦しんだ出来事、マスメディアによる被害があった出来事を紹介する。<br>○なぜ、このようなことが起こるのか考えられるようにする。<br><div style="border: 1px solid black; background-color: cyan; padding: 2px; display: inline-block;">原因を特定</div><br>○新聞報道によって、発信された情報によって苦しむ人がいることや、その記事をそのまま信じるのではなく、自分で判断することも大切であることに気付けるようにする。<br><div style="border: 1px solid black; background-color: cyan; padding: 2px; display: inline-block;">対応を検討</div> |           |

|            |   |  |   |
|------------|---|--|---|
| <p>まとめ</p> | <p>5. 新聞から情報を読み取る時に、何が大切か考える。</p> <p style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">対話するポイント</p> | <p>○新聞から情報を読み取る時に、何が大切なのか考えられるようにする。</p> <p style="background-color: cyan; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; text-align: center;">行動の準備</p> <p>○「立ち止まる、考える、相談する」の合言葉にたどり着けるように導く。</p> <p>○自分一人で考えることが難しい場合は、グループで考えてもよいことを伝え、柔軟に児童の考えを引き出すことができるようにする。</p> | <p>○情報の受け止め方について、そのまま受け止めて良いのか、自身で判断することが大切であることを理解する。(ノート・発言)</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能①】</p> |
|------------|---|--|---|

・本時の目標(7/7)

情報社会についての様々な問題から、これからの情報の扱い方について、自分の考えを表現することができる。

・本時の展開

|                                 | 学習活動   | 教師の支援  | 評価規準と評価方法 |      |                                 |  |  |
|---------------------------------|--|--|-----------|------|---------------------------------|--|--|
| 導入                              | <p>1. 第2時の板書から、今現在一番使われているメディアは何かを見つけ、使われている理由を考える。</p> <p>2. インターネットを介した情報交流の手段には、どのようなものがあり、どのようなよさがあるのか考える。</p> <p>3. めあてを確認する。</p> | <p>○学習問題を作った時間を振り返り、課題意識を思い起こすようにする。</p> <p>○どのようなソーシャルメディアが登場してきたか、また児童自身が使っているかなどを確認しながら進めるようにする。例示をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メール</li> <li>・SNS(インスタグラム)</li> <li>・ブログ(個人)</li> <li>・X(旧Twitter)</li> </ul> <p>○たくさんの方が関わって作っている新聞記事と対照的に、個人で手軽に時間をかけずに情報発信をすることができるソーシャルメディアが登場し、世の中が変わってきたことを児童が認識できるようにする。テレビや新聞は、ニュースの報道や記事の作成にたくさんの方が関わっているから、信用があるということが明確になるようにする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">テレビ・新聞</th> <th style="width: 50%;">SNS等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・報道や記事の作成にたくさんの方が関わる分、内容に信用がある。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達が速い</li> <li>・手軽</li> <li>・全て1台で解決</li> <li>・無料</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> | テレビ・新聞    | SNS等 | ・報道や記事の作成にたくさんの方が関わる分、内容に信用がある。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達が速い</li> <li>・手軽</li> <li>・全て1台で解決</li> <li>・無料</li> </ul> |  |
| テレビ・新聞                          | SNS等   |  |           |      |                                 |  |  |
| ・報道や記事の作成にたくさんの方が関わる分、内容に信用がある。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達が速い</li> <li>・手軽</li> <li>・全て1台で解決</li> <li>・無料</li> </ul>                                   |  |           |      |                                 |  |  |
|                                 | <p>受け取ったり、送ったりする情報を、どのようにあつかい、生かしていけばよいのだろう</p>  |  |           |      |                                 |  |  |

|                      |   |  |  |
|----------------------|---|--|--|
| <p>展<br/>開</p>       | <p>4. これからどんなことにインターネットやソーシャルメディアを使っていきたいのか考え</p> <p style="text-align: center;"><b>対話するポイント</b></p> <p>5. インターネットを利用する際の情報の扱い方の注意点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を送る側の気をつけるべきこと、情報を受け取る側の気をつけることに分けて考える。</li> </ul> | <p>○将来やってみたいことなど、前向きな活用について考えられるようにする。</p> <p style="text-align: center;"><b>感情を確認</b></p> <p>○児童が分かりやすいように、発信する側と受信する側に分けて整理していく。</p> <p style="text-align: center;"><b>原因を特定</b></p> <p>○何に注意をして情報を扱うとよいか考えられるようにする。教科書を参考にしてもよいことを伝える。</p> <p style="text-align: center;"><b>対応を検討</b></p> <p>○児童が思いを膨らませていく中で立ち止まったり、考えたり、相談する場面があれば、それを認め、評価する。</p> |  |
| <p>ま<br/>と<br/>め</p> | <p>6. 情報をどのように扱い、生かしていくのか、自分の考えを書く。</p>   | <p>○友達と意見を交流した後、近い将来や遠い将来に向けて使ってみたい、やってみたいことの実現に向けて、思いを膨らませられるようにする。</p> <p style="text-align: center;"><b>行動の準備</b></p>   | <p>○情報社会の諸課題に対して、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。<br/>(ノート・発言)</p> <p style="text-align: right;">【態度】</p> |